

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次  
(県立広島大学 地域創生学部)

1	学生確保の見通し	
(1)	入学定員設定の考え方	1
(2)	定員充足の見込み	
①	広島県の大学進学状況について	1
②	同系統の学部の志願状況について	1
③	本学部・学科への受験・入学希望を把握するためのアンケート調査	2
④	既設学部の入学志望状況	4
⑤	学生納付金の考え方	6
(3)	学生確保に向けた具体的な取組	6
①	大学の魅力の向上に向けた取組	6
②	学生確保に向けた戦略的広報活動の実施	7
2	人材需要の動向等社会の要請	
(1)	人材の養成に関する目的その他の研究上の目的(概要)	8
(2)	既存学部の就職状況	10
(3)	人材需要の動向	11



## 県立広島大学地域創生学部 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生確保の見通し

#### (1) 入学定員設定の考え方

地域創生学部の設置計画においては、基礎となる既設の人間文化学部国際文化学科、健康科学科及び経営情報学部経営学科、経営情報学科の近年の志願動向を踏まえるとともに、高校生に対するアンケート調査の結果を総合的に鑑み、地域創生学部では入学定員を200名（地域文化コース75名、地域産業コース90名、健康科学コース35名）と設定している。基礎となる既設2学部4学科において、安定的に学生を確保・育成してきた実績があるが、少子化による18歳人口の減少や同系統の他大学志願状況等に鑑み、基礎となる既設学部の入学定員より20名減での設定とした。志願者確保の厳しさは増しているところではあるが、入学定員の確保は十分に可能であると考えている。

#### (2) 定員充足の見込み

##### ①広島県の大学進学状況について

文部科学省「学校基本調査」によると、広島県の18歳人口・高校卒業者数とも、平成26年から平成30年の5年間で横ばいであるが、大学進学率は増加傾向にある。また、地元大学進学者数も、5年間で7,720人から7,790人の70名増と増加傾向にあり、県内高校生の地元大学への進学数は、7,800人前後と安定的に見込まれる。〔資料1〕

##### ②同系統の学部の志願状況について

地域創生学部地域創生学科に関連のある人文科学系統、経済・経営系統、生活科学（食物・栄養学）系統、保健衛生（体育・健康科学）系統の学科の志願状況について平成28年度と平成30年度を比較したところ、地域文化コースに関連する人文科学系統は、国公立大学で約5%減少、私立大学で20%増加しており、全体での志願者数は増加している。地域産業コースに関連する経済・経営系統は、国公立大学で約2%増加し、私立大学で約25%増加しており、全体での志願者数は増加している。健康科学コースに関連する生活科学（食物・栄養学）系統と保健衛生（体育・健康科学）系統では、生活科学（食物・栄養学）系統は国公立大学で横ばいとなり、私立大学で約7%減少し、全体では減

少している。保健衛生（体育・健康科学）系統では国公立大学で約 10%減少し、私立大では約 2%増加、全体では増加している。〔資料 2〕

また、広島県及び近隣で類似の学部を持つ大学の、一般選抜の志願状況を見ると、各大学とも志願者を安定的に集めている。志願倍率の面で、県立広島大学はこれらの大学と同等、若しくは高い倍率を保持していることから、両学科とも、受験生の高い需要が見込まれる。〔資料 3〕

なお、類似学部学科の選定に当たっては、教育内容、大学の立地等を比較・検討の上、選定した。

### ③本学部・学科への受験・入学希望を把握するためのアンケート調査の実施 ア. 調査の目的

2020 年 4 月開設予定の県立広島大学「地域創生学部地域創生学科」「生物資源科学部地域資源開発学科」「生物資源科学部生命環境学科」「保健福祉学部保健福祉学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握するためアンケート調査を実施した。

#### イ. 高校生アンケートの概要

調査対象	高校 2 年生
調査エリア	広島県
調査方法	高校留置き調査
依頼数（依頼校）	18,846 人（110 校）
回収数（回収率）	12,463 人（77 校）（66.1%）
調査期間	平成 31 年 1 月 8 日～平成 31 年 1 月 25 日
調査実施機関	株式会社進研アド

#### ウ. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 性別</li><li>・ 高校種別</li><li>・ 所属クラス</li><li>・ 高校卒業後の希望進路</li><li>・ 興味ある学問系統</li><li>・ 「県立広島大学」の特色に対する魅力度</li><li>・ 「県立広島大学」への受験意向</li><li>・ 「県立広島大学」への入学意向</li></ul>

#### エ. 調査結果

本調査は第三者機関（株式会社進研アド）に業務委託し、2020年4月開設予定の県立広島大学「地域創生学部地域創生学科」「生物資源科学部地域資源開発学科」「生物資源科学部生命環境学科」「保健福祉学部保健福祉学科」に対する需要を確認するための調査として設計し、県立広島大学の主な学生募集エリアである広島県に所在する高校の2年生を対象にアンケート調査を実施した。

対象となる県内公立高校110校の生徒18,846人に対しては、本調査に当たり、学科の特色、育成する人材像、想定される進路、類似する学部学科等を掲載したパンフレット〔資料6〕を配布した上で調査を行い、12,463人（回収率66.1%）の回答を得た。〔資料4〕（Q1・複数回答）

県立広島大学の特色に対する魅力度についての質問に対しては、「大学入学後に、学生の興味・関心に基づいて、主体的に学びたいコースを選択する「経過選択制」を全学部の一部に導入する。」が77.3%と最も高く、次いで「実践力、国際感覚やコミュニケーション能力を身に付け、自律的に地域創生に貢献できる「課題探究型地域創生人材」を育成する」は69.9%であった。

地域創生学部の特色に対する魅力度は、すべての項目で6割を超えていた。また、最も魅力が高いのは、「社会・人文科学、経営学、情報学、健康科学など幅広い分野を融合した教育プログラムを配置。さらに学修の幅を広げられる副専攻教育プログラムも配置」で70.0%であった。次いで「地域文化、地域産業、健康科学の3コースで、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。」が66.5%、「地域創生・地域イノベーションの視点から学べる。」が

61.8%と続いた。

県立広島大学を「受験したいと思う」と答えた生徒は、24.2%（3,013人）であった。そのうち、地域創生学部地域創生学科地域文化コースに「入学したい」と回答した生徒は16.0%（482人）、地域創生学部地域創生学科地域産業コースに「入学したい」と回答した生徒は12.5%（376人）、地域創生学部地域創生学科健康科学コースに「入学したい」と回答した生徒は8.7%（261人）であった。

これは地域創生学部地域創生学科の入学定員200人（地域文化コース75名、地域産業コース90名、健康科学コース35名）を、何れも上回っており、本学科各コースに対するニーズが十分にあると言える。広島県内の大学進学状況、同系統の全国の志願状況、既存学部の入学志願状況や高校生対象のアンケート調査結果を見ても、地域創生学部地域創生学科の定員は充足できるものと考えている。

#### ④既設学部の入学志願状況について

地域創生学部の基礎となる人間文化学部国際文化学科、健康科学科及び経営情報学部経営学科、経営情報学科の過去5年間の志願状況をみると、志願倍率（5年平均）は国際文化学科では4.2倍、健康科学科では5.0倍、経営学科では5.9倍、経営情報学科では5.6倍で、志願者は安定している。

今回の再編では学科の特色を明確化するため、地域創生学科（入学定員200人）とし、学部全体の入学定員を20名減としている。既設学部・学科の志願状況を勘案し、今後も十分な定員充足が見込まれる。

#### 【人間文化学部国際文化学科志願状況（平成27～31年度）】

年度	定員（人）	志願者数（人）	志願倍率
平成27年度	85	355	4.2倍
平成28年度	85	377	4.4倍
平成29年度	85	389	4.6倍
平成30年度	85	334	3.9倍
平成31年度	85	312	3.7倍
平均（平成27～31年度）			4.2倍

【人間文化学部健康科学科志願状況（平成 27～31 年度）】

年度	定員（人）	志願者数（人）	志願倍率
平成 27 年度	35	205	5.9 倍
平成 28 年度	35	142	4.1 倍
平成 29 年度	35	212	6.1 倍
平成 30 年度	35	183	5.2 倍
平成 31 年度	35	122	3.5 倍
平均（平成 27～31 年度）			5.0 倍

【経営情報学部経営学科志願状況（平成 27～31 年度）】

年度	定員（人）	志願者数（人）	志願倍率
平成 27 年度	60	416	6.9 倍
平成 28 年度	60	273	4.6 倍
平成 29 年度	60	353	5.9 倍
平成 30 年度	60	386	6.4 倍
平成 31 年度	60	354	5.9 倍
平均（平成 27～31 年度）			5.9 倍

【経営情報学部経営情報学科志願状況（平成 27～31 年度）】

年度	定員（人）	志願者数（人）	志願倍率
平成 27 年度	40	153	3.8 倍
平成 28 年度	40	260	6.5 倍
平成 29 年度	40	205	5.1 倍
平成 30 年度	40	260	6.5 倍
平成 31 年度	40	253	6.3 倍
平均（平成 27～31 年度）			5.6 倍

### ⑤学生納付金の考え方

地域創生学部学生納付金は以下のとおりである。これは、国立大学及び他の公立大学の学生納付金を参考に設定している。

#### 【地域創生学部学生納付金】

	入学料	授業料
県内生	282,000 円	535,800 円
県外生	394,800 円	535,800 円

### (3) 学生確保に向けた具体的な取組状況

現在は広島県及び中国地方において高い競争力を有し、毎年定員を大きく上回る受験者を確保しているが、18歳人口の減少や、大学間の競争がますます激化することが予想される中で、新学部の学生確保に向けた取組については、教育、研究、地域貢献等の更なる深化と発展による大学の魅力の向上や、本学の教育研究活動を広く発信するための戦略的な広報活動等を行い、高校生・保護者・高校教員に本学の取組や魅力を周知していくことが重要な課題と捉えている。学生確保の取組については、本学教職員や学生が強く連携し、下記の取組により積極的な学生募集活動を展開する。

#### ①大学の魅力の向上に向けた取組

本学では、平成26年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラムに全国の公立大学で唯一採択され、県立広島大学独自のアクティブ・ラーニングや、広島県教育委員会や県立高校との連携による教育改革を推進するなど、学生が主体的に学ぶ姿勢を身に付けるためのさまざまな取組を行っている。新設学部においてもこの取組を深化・発展させることで、大学の魅力の向上を図る。

#### 【具体的な取組例】

- ・教員相互の授業レビュー及び高等学校で授業見学による授業方法の改善
- ・地域をフィールドとした行動型学修の推進
- ・高大接続改革の推進
- ・地域課題に関連した5つのプロジェクト研究センターの設置



- ・研究データを活用した、健康増進車による県民の健康づくり支援
- ・企業や地元スポーツ団体とのコラボレーションによる新商品・イベントの企画
- ・海外留学や国際交流活動などの経験を評価対象とする推薦入試「異文化体験枠」の導入

## ②学生確保に向けた戦略的広報活動の実施

### ア 大学説明会

毎年6月、高校生、保護者、高校教員を対象として、全学合同での説明会を広島キャンパスで開催している。学長による本学の教育方針の説明や、各学部長による学部の教育内容の説明、入試の概要説明等を行うとともに、施設の見学、教員による個別相談等を行っている。

例年約700人が参加しており、平成30年度は、広島県内だけでなく全国、海外からも参加があった。今年度も6月に実施する。

### イ オープンキャンパス

毎年8月に、キャンパス毎に、高校生、保護者を対象に、各学科説明、模擬授業、入試の概要説明、教員による個別相談、学生プレゼンテーション、施設見学、研究室見学、保護者説明会等を行っている。

地域創生学部が設置される広島キャンパスでは、例年約2,000人が参加しており、今年度も8月に実施する。

### ウ 高校訪問

本学への出願が多い県内高校を中心に、教職員がチームを編成し、個別に訪問し、新学部学科をPRする計画を具体化している。

### エ 県内高等学校との連絡会等

入試に関する概要説明や意見交換等を県内高校と毎年行っており、今年度も7月に開催予定の会議において新学部学科の入試概要等を周知することとしている。

#### オ ホームページでの紹介

本学の公式ホームページに、新学部学科の概要を掲載し、広く周知を図るとともに、最新の情報やイベント等についても、適宜掲載し、情報発信をきめ細やかに行う。

#### カ 大学案内等パンフレットの作成

再編後の新学部学科を周知するツールとして、再編後の教育課程の特色や、育成する人材像、入試情報等を掲載した大学案内やパンフレットを作成し、高校訪問やオープンキャンパス等でも活用し、新学部学科を広く周知する。

上記の取組のほか、民間企業が制作する進学情報誌や進学情報サイトを通じての情報発信、本学が高大連携で実施している模擬授業等、様々な機会を通じて広報活動を展開する。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の研究上の目的（概要）

自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起こっている出来事に対する想いや疑問をもとに、地域社会の実態や課題の本質を浮き彫りにし、地域創生のために必要な3つのコース（地域文化・地域産業・健康科学）についての専門知識・技能（専門性）と幅広い教養を身に付け、様々な個人や組織との連携・協力（協働性）をもって、それらを解決するための道筋を見い出し、解決に向けて挑戦できる実践力を持った、地域社会の持続的な発展に主体的に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目的とする。

地域社会の実態や課題を浮き彫りにするとともに、課題の解決に向けて地域創生・地域産業・健康科学についての専門知識・技能を活用し、様々な個人や組織と力を合わせて、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。

なお、地域創生学科各コースにおける人材育成に関する目的その他の教育研究上の目的は、以下のとおりとなっている。

#### ○地域文化コース

地域文化コースでは「多文化共生」と「文化継承」をテーマに、継承すべき地

域の文化を世界的な視野で探究し、他国の文化の理解や外国語コミュニケーション能力を活用して、地域と世界のために行動する人材を育成する。

<想定される進路>

企業・行政・NPO など様々な場面で、多文化共生の試みや地域の歴史・文化コンテンツの活用に関わる人、学校の国語・英語教員、博物館などの文化施設の専門職員として勤務することを、進路先として想定している。

○地域産業コース

地域産業・地域社会を持続的に発展させるために必要不可欠な、最新の経営手法と IoT・AI を含む情報技術を探究し、企業・行政・NPO など多様な組織活動を担う人材や、情報システムの企画・設計開発・運用管理を通して企業や社会の情報化に寄与できる情報化推進者や情報処理技術者を育成する。

<想定される進路先>

経営戦略・マーケティングと会計ファイナンスの専門知識を用いて企画・提案・マネジメントを行う人材として、また応用情報学の専門知識を活用して情報化の企画・提案、IoT・AI やデータ解析などの技術開発を担う IT 技術者として、金融機関、保険業、情報通信業、卸業、製造業、サービス業、地方自治体などに勤務することを、進路先として想定している。

○健康科学コース

真に豊かで健康な人間生活の実現を目指し、生涯にわたる健康の維持・増進と心身の調和的発達や、長寿社会における生活の質の向上に関して、「食・運動・身体」をテーマに、他者と協働して主体的かつ積極的に取り組む人材を育成する。

<想定される進路先>

公的機関（保健所・保健センター）、病院、福祉施設などの管理栄養士、食品衛生監視員や、食品・給食関連企業の管理栄養士や研究員、学校の栄養教諭や学校栄養職員、関連分野の大学院進学などを進路として想定している。

(2) 既設学部の就職状況

地域創生学部の基礎となる人間文化学部国際文化学科、健康科学科及び経営情報学部経営学科、経営情報学科の過去5年間の就職希望者に対する就職率は、各年度96%から100%で推移しており、安定して高率を維持しており、類似する教育内容を含む地域創生学科（地域文化コース、地域産業コース、健康科学コース）の卒業生においても、良好な就職状況が期待できる。

【人間文化学部国際文化学科就職率（平成26～30年度）】

年度	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人) (A)	就職者数 (人) (B)	就職率 (%) (B/A)
平成26年度	88	80	77	96.3
平成27年度	83	76	74	97.4
平成28年度	85	79	78	98.7
平成29年度	87	81	81	100.0
平成30年度	88	77	77	100.0

【人間文化学部健康科学科就職率（平成26～30年度）】

年度	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人) (A)	就職者数 (人) (B)	就職率 (%) (B/A)
平成26年度	38	31	30	96.8
平成27年度	36	33	33	100.0
平成28年度	36	29	29	100.0
平成29年度	35	27	27	100.0
平成30年度	35	29	29	100.0

【経営情報学部経営学科就職率（平成 26～30 年度）】

年度	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人) (A)	就職者数 (人) (B)	就職率 (%) (B / A)
平成 26 年度	64	62	62	100.0
平成 27 年度	68	66	66	100.0
平成 28 年度	63	61	59	96.7
平成 29 年度	64	62	62	100.0
平成 30 年度	67	66	65	98.5

【経営情報学部経営情報学科就職率（平成 26～30 年度）】

年度	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人) (A)	就職者数 (人) (B)	就職率 (%) (B / A)
平成 26 年度	43	41	41	100.0
平成 27 年度	43	36	36	100.0
平成 28 年度	40	34	34	100.0
平成 29 年度	39	36	36	100.0
平成 30 年度	43	42	42	100.0

(3) 社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであることの客観的な根拠

令和 2 年 4 月開設予定の「県立広島大学」再編構想に関して、地域創生学部の人材の養成に関する目的その他の研究上の目的が、地域的な人材需要を踏まえたものであることの客観的な根拠となるデータを収集するため、地域創生学部の基礎となる人間文化学部国際文化学科、健康科学科及び経営情報学部経営学科、経営情報学科に対して、これまでに求人票を寄せられた事業所を中心に、採用意向など人材需要の見通しについて、社会的、地域的な人材需要を把握することを目的に、第三者機関（株式会社進研アド）に業務委託し、アンケート調査を実施した。

調査に当たり、学科の特色、育成する人材像、想定される進路、類似する学部学科等を掲載したパンフレットを配布した上で、本学に求人を出している企

業 2,306 社を対象として調査を実施し、702 社（回収率 30.4%）の回答を得た。〔資料 5〕

(ア) アンケート調査の概要

調査対象	企業の採用担当者
調査エリア	北海道，岩手県，宮城県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，新潟県，富山県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県，滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県，鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県，福岡県，佐賀県，長崎県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県
調査方法	郵送調査
依頼数（依頼企業）	2,306 社
回収数（回収率）	702 社（30.4%）
調査期間	平成 31 年 1 月 8 日～平成 31 年 1 月 25 日
調査実施機関	株式会社進研アド

(イ) 調査結果

（地域創生学部地域創生学科地域文化コース）

地域創生学部地域創生学科地域文化コースの社会的必要性については、82.5%（579 社）が「必要だと思う」と回答し、回答企業等の大部分が、本学科の社会的必要性を感じている。

また学部の特色への興味についての質問に対しては、「地域創生・地域イノベーションの視点から学べる」に魅力を感じる企業が 60.4%あり、「社会・人文科学，経営学，情報学，健康科学など幅広い分野を統合した教育プログラムを設置。さらに学修の幅を広げられる副専攻教育プログラムも設置」に魅力を感じるが 58.9%，「地域文化，地域産業，健康科学の 3 コースで，地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。」に魅力を感じるが 58.5%と、本学科の特色に対する魅力度は高い。

さらに、本学科卒業生の採用意向については、「採用したいと思う」と回答した企業が 378 社あり、毎年採用想定人数が確定している企業（161 社）の採用想

定人数の合計は 278 名であり，入学定員 75 人を 3 倍以上上回る採用意向が見られた。

(地域創生学部地域創生学科地域産業コース)

地域創生学部地域創生学科地域産業コースの社会的必要性については，89.7% (630 社) が「必要だと思う」と回答し，回答企業の大部分が，本学科の社会的必要性を感じている。

また学部の特色への興味についての質問に対しては，「地域創生・地域イノベーションの視点から学べる」に魅力を感じる企業が 67.6%あり，「社会・人文科学，経営学，情報学，健康科学など幅広い分野を統合した教育プログラムを設置。さらに学修の幅を広げられる副専攻教育プログラムも設置」に魅力を感じるが 66.6%，「地域文化，地域産業，健康科学の 3 コースで，地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。」に魅力を感じるが 65.5%と，本学科の特色に対する魅力度は高い。

さらに，本学科卒業生の採用意向については，「採用したいと思う」と回答した企業が 428 社あり，毎年の採用想定人数が確定している企業 (194 社) の採用想定人数の合計は 324 名であり，入学定員 90 人を 3 倍以上上回る採用意向が見られた。

(地域創生学部地域創生学科健康科学コース)

地域創生学部地域創生学科健康科学コースの社会的必要性については，90.2% (633 社) が「必要だと思う」と回答し，回答企業の大部分が，本学科の社会的必要性を感じている。

また，学部の特色への興味についての質問に対しては，「地域創生・地域イノベーションの視点から学べる」に魅力を感じる企業が 67.8%あり，「社会・人文科学，経営学，情報学，健康科学など幅広い分野を統合した教育プログラムを設置。さらに学修の幅を広げられる副専攻教育プログラムも設置」に魅力を感じるが 68.5%，「地域文化，地域産業，健康科学の 3 コースで，地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。」に魅力を感じるが 67.4%と，本学科の特色に対する魅力度は高い。

さらに，本学科卒業生の採用意向については，「採用したいと思う」と回答した企業が 437 社あり，毎年の採用想定人数が確定している企業 (193 社) の採用想

定人数の合計は 305 名であり，入学定員 35 人を大きく上回る採用意向が見られた。

以上のことから，地域創生学部地域創生学科（地域文化コース，地域産業コース，健康科学コース）で育成する人材を求める企業は多く，本学部卒業生の卒業後の進路は十分に見込まれるものと考ええる。



## 参 考 資 料

資料1 広島県の大学進学状況の推移（平成26年～30年）

資料2 系統別志願者等推移（平成28年～30年）

資料3 類似学部を持つ大学の志願動向等（平成29年度～31年度）

資料4 県立広島大学「地域創生学部 地域創生学科」「生物資源科学部 地域資源開発学科」「生物環境学科」「保健福祉学部 保健福祉学科」（すべて仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書〔高校生対象調査〕

資料5 県立広島大学「地域創生学部 地域創生学科」「生物資源科学部 地域資源開発学科」「生物環境学科」「保健福祉学部 保健福祉学科」（すべて仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書〔企業対象調査〕

資料6 県立広島大学 学部・学科再編の概要（パンフレット）



## 広島県の大学進学状況の推移

### ■大学・短大進学状況の推移

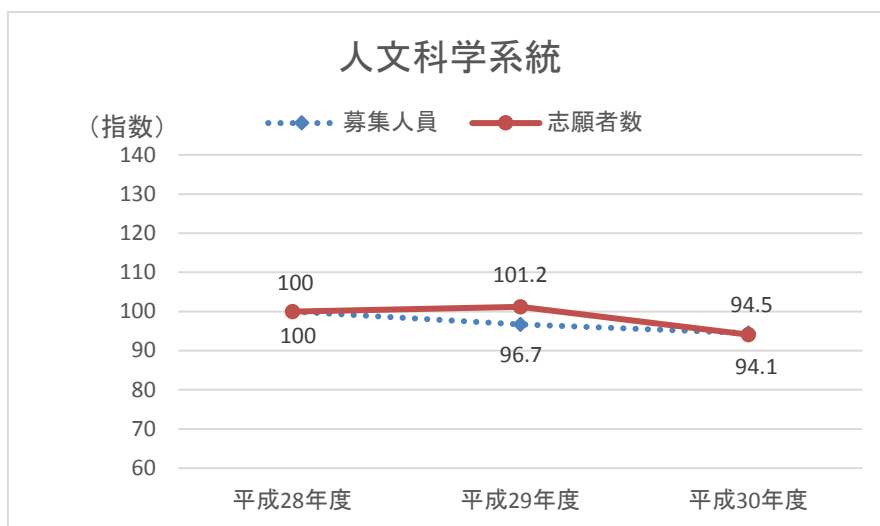
	2014	2015	2016	2017	2018	2018 -2014	2018 /2014
18歳人口	27,016	27,531	27,204	27,297	26,710	-306	99
高校卒業者数	23,401	23,758	23,468	23,780	23,225	-176	99
大学進学率(%)	53.8	53.4	53.9	54.9	55.2	1.4	-
短期大学進学率(%)	4.8	4.5	3.9	3.8	3.4	-1.4	-
大学進学者数	14,533	14,701	14,672	14,995	14,739	206	101
地元大学進学者数	7,720	7,748	7,698	7,821	7,790	70	101
地元大学進学率(%)	53.1	52.7	52.5	52.2	52.9	-0.2	-
他県大学進学者数	13,107	13,241	13,189	13,547	13,547	440	103
短大進学者数	1,299	1,234	1,060	1,040	903	-396	70
地元短大進学者数	923	867	687	681	567	-356	61
地元短大進学率(%)	71.1	70.3	64.8	65.5	62.8	-8.3	-
他県短大進学者数	1,175	1,089	871	858	766	-409	65



# 人文科学系統志願者等推移(平成28～30年度)

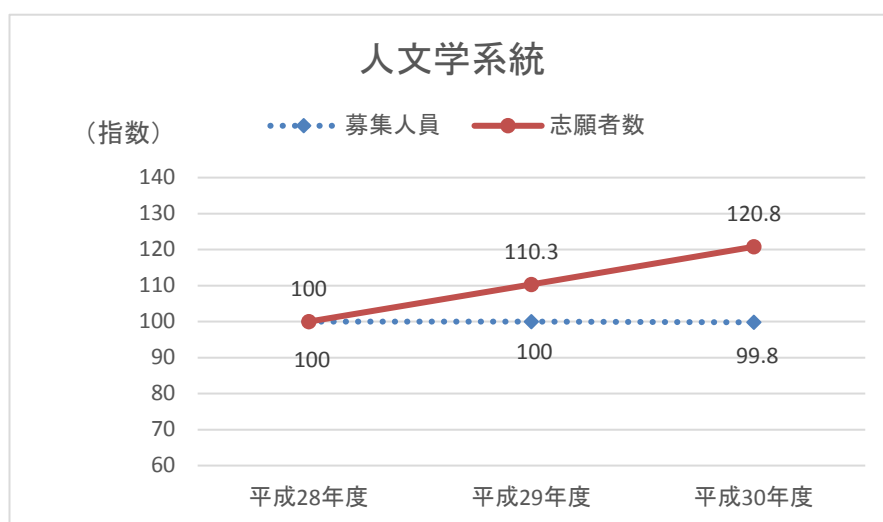
資料2

## 国公立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	6,290	6,084	5,946	-344
志願者数	28,624	28,963	26,935	-1,689
志願倍率	4.6	4.8	4.5	-
受験者数	19,139	18,916	18,598	-541
合格者数	7,356	7,089	6,780	-576

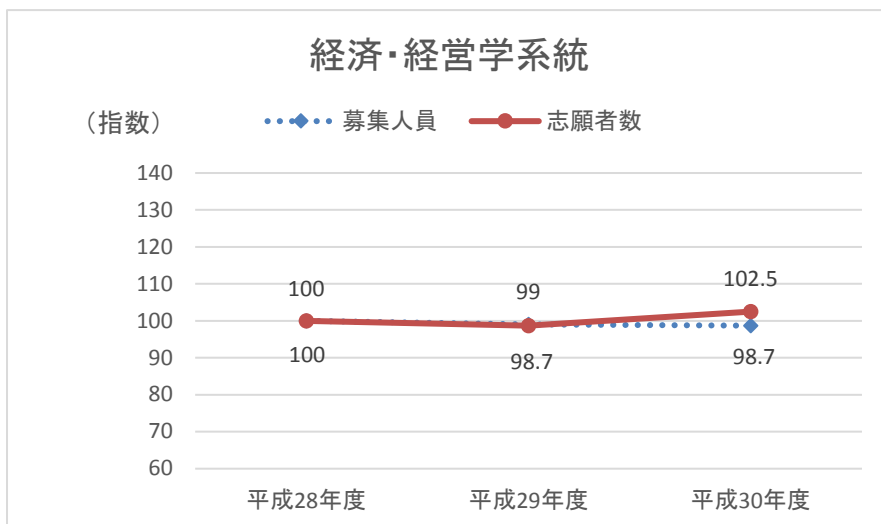
## 私立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	23,609	23,612	23,563	-46
志願者数	226,679	250,137	273,802	47,123
志願倍率	9.6	10.6	11.6	-
受験者数	206,429	227,841	249,908	43,479
合格者数	65,570	62,230	58,427	-7,143

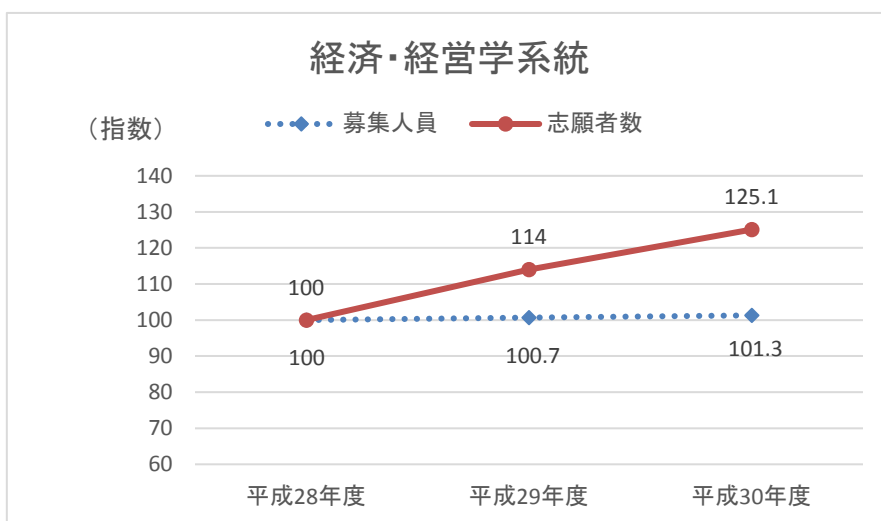
# 経済・経営系統志願者等推移(平成28～30年度)

## 国公立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	10,819	10,715	10,678	-141
志願者数	57,538	56,804	58,962	1,424
志願倍率	5.3	5.3	5.5	-
受験者数	38,754	39,010	40,916	2,162
合格者数	14,645	14,475	13,936	-709

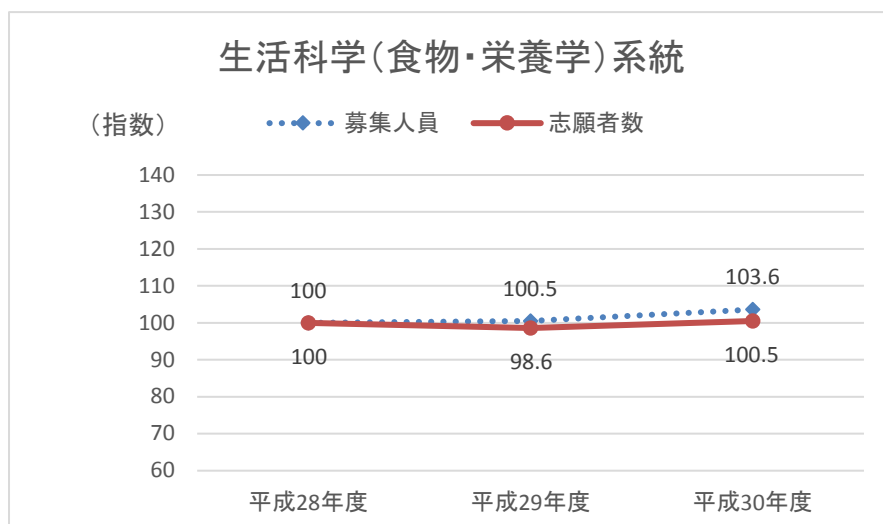
## 私立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	36,961	37,221	37,454	493
志願者数	392,264	446,993	490,903	98,639
志願倍率	10.6	12.0	13.1	-
受験者数	357,359	406,599	447,186	89,827
合格者数	102,815	98,314	90,272	-12,543

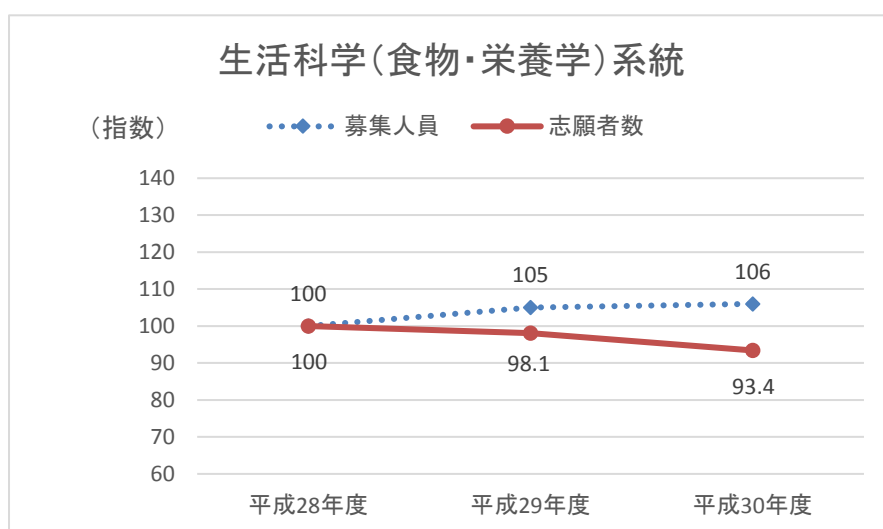
# 生活科学(食物・栄養学)系統志願者等推移(平成28～30年度)

## 国公立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	551	554	571	20
志願者数	2,837	2,796	2,852	15
志願倍率	5.1	5.0	5.0	-
受験者数	2,070	2,085	2,100	30
合格者数	666	666	693	27

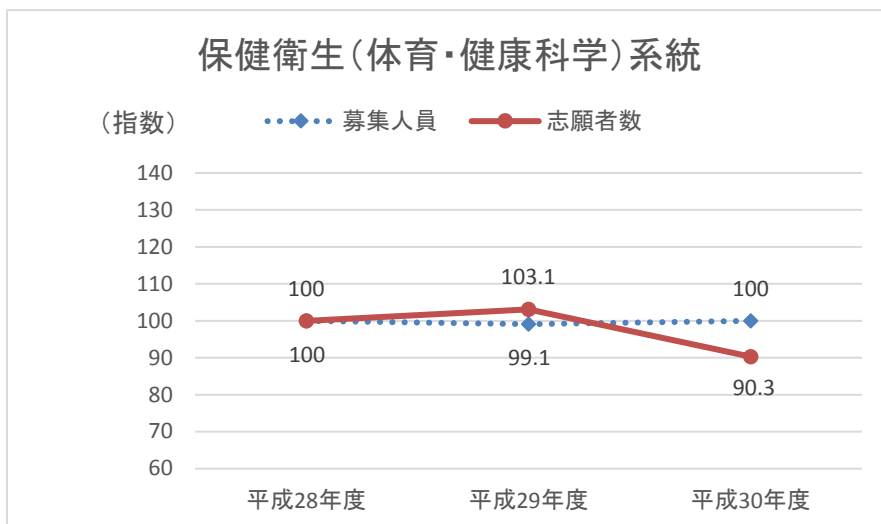
## 私立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	4,119	4,327	4,365	246
志願者数	31,024	30,438	28,981	-2,043
志願倍率	7.5	7.0	6.6	-
受験者数	27,727	27,247	26,012	-1,715
合格者数	9,084	9,535	9,854	770

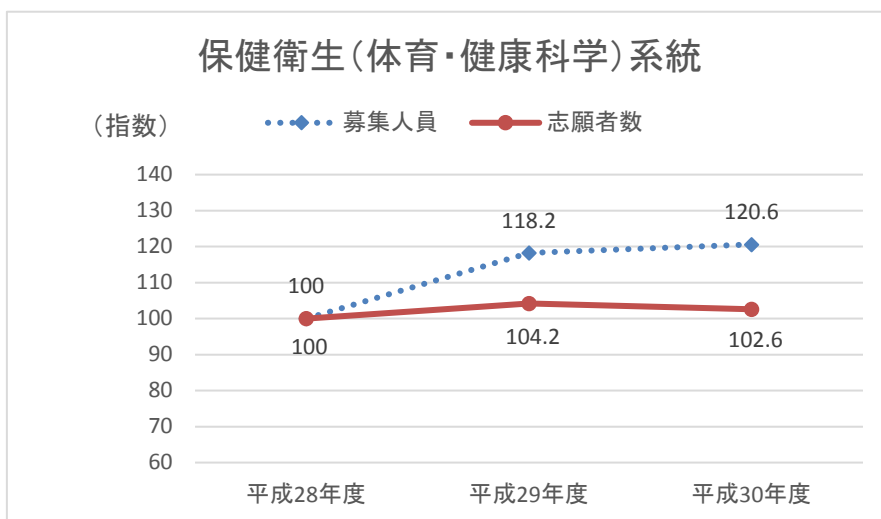
# 保健衛生(体育・健康科学)系統志願者等推移(平成28～30年度)

## 国公立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	345	342	345	0
志願者数	1,737	1,791	1,569	-168
志願倍率	5.0	5.2	4.5	-
受験者数	1,384	1,398	1,333	-51
合格者数	431	419	408	-23

## 私立大学



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差(平成30年度-平成28年度)
募集人員	3,568	4,216	4,302	734
志願者数	31,710	33,055	32,546	836
志願倍率	8.9	7.8	7.6	-
受験者数	29,172	30,439	29,745	573
合格者数	7,732	7,430	7,691	-41



## 類似学部を持つ大学の志願動向等

## 国公立大学

大学名 学部学科名	日程	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		定員	志願者数	志願倍率	定員	志願者数	志願倍率	定員	志願者数	志願倍率
兵庫県立大学 環境人間学部	前期	115	440	3.8	115	372	3.2	115	519	4.5
	後期	20	190	9.5	20	140	7.0	20	149	7.5
鳥取大学 地域学部	前期	104	230	2.2	104	260	2.5	104	268	2.6
	後期	36	403	11.2	36	428	11.9	36	404	11.2
高知大学 地域協働学部	前期	35	115	3.3	35	107	3.1	35	98	2.8
	後期									
島根県立大学 人間文化学部	前期				50	199	4.0	50	220	4.4
	後期				10	76	7.6	10	146	14.6
福山市立大学 都市経営学部	前期	105	278	2.6	105	379	3.6	105	310	3.0
	後期	30	448	14.9	30	639	21.3	30	408	13.6

# 地域から 未来を開こう

生物資源科学部

地域資源開発学科  
生命環境学科



地域創生学部

地域創生学科



保健福祉学部

保健福祉学科



## 新しい学びが始まる

2020年4月開設(仮称・設置構想中)

※記載の内容は現在計画中の予定であり、変更される可能性があります。



# キャンパスは「地域・ひろしま」。 よりアクティブに学び、 これからの時代を生き抜く。

私たちを取り巻く環境は、グローバル化や情報化の進展などにより刻々と変化し、将来の予測がますます困難な時代に入っています。このような時代を生き抜く力を育む「アクティブな学び」を提供するため、**県立広島大学**は生まれ変わります。現在の4学部11学科から、3学部4学科へと再編し、3つのキャンパスを拠点に「**地域・ひろしま**」を学びのフィールドとして最大限に活用した教育を展開。主体的に考え、課題解決に向け行動できる実践力、多様性を尊重する国際感覚や豊かなコミュニケーション能力を身に付け、生涯学び続ける自律的な学修者として地域創生に貢献できる「**課題探究型地域創生人材**」を育成します。

## 県立広島大学は、3学部4学科体制に生まれ変わります。



### 経過選択制の導入

本学の新しい3学部では、全学部の一部に「経過選択制」を導入します。この制度は、入学前にコース(専門)を決め切ってしまうのではなく、大学入学後に幅広い専門分野の大学教育に触れながら、学生一人ひとりが抱いた興味や関心などに基づいて、学びたいコースを主体的に選択するための制度です。



地域の課題を解決するために自ら考え、行動できる人になる。

# 地域創生学部

## 地域創生学科 (仮称)



広島キャンパス

### 教育の目標

自分が暮らす身近な地域の問題や世界の各地で起こっている出来事を、私たちはどのように理解し、考えていくべきなのでしょうか。地域創生学部では地域社会の実態や課題を浮き彫りにするとともに、課題の解決に向けて地域文化・地域産業・健康科学についての専門知識・技能を活用し、さまざまな個人や組織と力を合わせて、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成します。

### 学部・学科の特徴

- 地域創生・地域イノベーションの視点から学ぶ
- 社会・人文科学、経営学、情報学、健康科学など幅広い分野を融合した教育プログラムを設置
- 学修の幅をさらに広げられる副専攻教育プログラムも設置

### 地域文化 コース

#### 育成する人材像

地域はつねにグローバルな世界とつながっています。地域文化コースでは「多文化共生」と「文化継承」をテーマに、継承すべき地域の文化を世界的な視野で探究し、他国の文化の理解や外国語コミュニケーション能力を活用して、地域と世界のために行動する人材を育成します。

#### 想定される進路

- 企業・行政・NPOなどさまざまな場面で、多文化共生の試みや地域の歴史・文化コンテンツの活用に関わる人材
- 学校の国語・英語教員
- 博物館などの文化施設の専門職員

### 地域産業 コース

#### 育成する人材像

地域産業・地域社会を持続的に発展させるためには、最新の経営手法とIoT・AIを含む情報技術が不可欠です。地域産業コースでは、企業・行政・NPOなど多様な組織活動を担う人材、情報システムの企画・設計開発・運用管理を通して企業や社会の情報化に寄与できる情報化推進者や情報処理技術者を育成します。

#### 想定される進路

- 経営戦略・マーケティングと会計ファイナンスの専門知識を用いて企画・提案・マネジメントを行う人材として勤務(金融・保険・卸・小売業、製造業、サービス業、公務員 ほか)
- 応用情報学の専門知識を活用して情報化の企画・提案、IoT・AIやデータ解析などの技術開発を担うIT技術者として勤務(情報通信業、サービス業、金融機関、製造業、公務員 ほか)

### 健康科学 コース

#### 育成する人材像

真に豊かで健康な人間生活の実現をめざし、生涯にわたる健康の維持・増進と心身の調和的発達や、長寿社会における生活の質の向上に関して、「食・運動・生体」をテーマに、他者と協働して主体的かつ積極的に取り組む人材を育成します。

#### 想定される進路

- 公的機関(保健所・保健センター)、病院、福祉施設などの管理栄養士、食品衛生監視員など
- 食品・給食関連企業の管理栄養士、研究員
- 学校の栄養教諭・学校栄養職員
- 関連分野の大学院

私たちの生存基盤である「農」や「食」、それらを支える  
生命科学や環境科学に関する専門性を活かし、人類や地域に貢献する。

# 生物資源科学部

## 地域資源開発学科(仮称) 生命環境学科(仮称)



庄原キャンパス

### 教育の目標

豊かな自然に囲まれた環境の中で、地域を学びのフィールドとして、「農」「食」にかかわる地域課題や「生命」「環境」にかかわる諸問題の解決に取り組むことで、人々の生存にかかわる分野の専門知識・技術を学び、豊かで持続可能な社会の創出に貢献できる人材を育成します。

### 学部・学科の特徴

- 「農」「食」の課題解決型、実践重視型のプログラムや「生命」「環境」のアカデミックな高度専門型のプログラムに基づいた幅広い内容を学ぶ
- 最新の技術を駆使した研究や実習を通して、専門性を身に付けられる教育プログラムを提供
- 農業や食品、環境など地域に根ざした高度な研究活動を支えるための施設(フィールド科学教育研究センター)を設置

## 地域資源開発学科

「農」や「食」の実践的な技術や知識、経営の専門知識を用いて未来の農業(スマート農業)や持続可能な「農」と「食」のマネジメントを探究するとともに、地域産業の再生と新規産業の創出に貢献できる人材を育成します。

### 3つの専門科目群

- 農業生産開発系
- 食品分析開発系
- 農食マネジメント系

### 育成する人材像

現場で活かせる技術・知識と経営の専門知識を身に付け、科学的根拠に基づく実践力とマネジメント力を駆使して地域社会を活性化、牽引できる人材を育成します。

### 想定される進路

- ICTやAI、ロボット技術を活用した農業法人
- IT企業や農機メーカー
- 学校の教員(農業)
- 公務員
- 普及指導員
- グローバル人材や専門家をめざすための大学院

## 生命環境学科

「人々の生存」にかかわる分野の専門知識・技術を用いて社会の課題を解決できる能力を修得し、地域の活性化や良好な生存環境の保全、持続可能な社会の発展などに役立つ科学を探究できる人材を育成します。

### 生命科学 コース

### 育成する人材像

ライフサイエンスやバイオテクノロジーに関する専門知識・技術を修得し、医薬品、食品、アグリバイオ、生殖科学などの分野で活躍できる人材を育成します。

### 想定される進路

- 医薬品、食品、アグリバイオ、生殖科学などに取り組む企業・団体
- 循環調和型技術・材料の開発や環境修復・評価など環境課題に取り組む企業・団体
- 学校の教員(理科)
- 公務員
- グローバル人材や専門家をめざすための大学院

### 環境科学 コース

### 育成する人材像

持続可能な社会の発展と良好な生存環境の保全に関する専門知識・技術を修得し、環境の保全や評価、資源の循環利用などに関する分野で活躍できる人材を育成します。



専門知識・技能・チーム医療を学び、地域の保健・医療・福祉を担う。

# 保健福祉学部

## 保健福祉学科(仮称)



三原キャンパス

### 教育の目標

保健・医療・福祉分野で活躍するためには、専門的な知識・技術のみならず高い倫理観や豊かな人間性を併せ持つことが必要です。新たな保健福祉学部では、1学科制を強みとしたコース横断型演習プログラムにより、職種を超えたコミュニケーション能力を育むとともに、地域包括ケアに貢献できる技能をもった、現場のリーダーとなる人材を育成します。

### 学部・学科の特徴

- 1学科5コースとして職種の枠を超えてチーム医療を学べるプログラムを提供
- 地域包括ケアを担うための専門知識・技能を学ぶ
- 保健・医療・福祉現場のリーダーとして活躍するための多角的な視点を学ぶ

### 看護学 コース

#### 育成する人材像

- ① 生命への尊厳をもって全人的に援助できる
- ② あらゆる健康状態にある人々のニーズに対応できる
- ③ 高い倫理観や高度な専門的知識を有している
- ④ 主体的な態度により多様な人々と協働できる

#### 取得可能な資格・免許

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭一種免許状

### 理学療法学 コース

#### 育成する人材像

- ① 身体の活動を科学的に捉えることができる
- ② 理学療法の分野での確かなケアシステムを提供できる
- ③ 高い倫理観や高度な専門的知識を有している
- ④ 主体的な態度により多様な人々と協働できる

#### 取得可能な資格

- 理学療法士国家試験受験資格

### 作業療法学 コース

#### 育成する人材像

- ① 人の作業を科学的に捉えることができる
- ② 作業療法の分野での確かなケアシステムが提供できる
- ③ 高い倫理観や高度な専門的知識を有している
- ④ 主体的な態度により多様な人々と協働できる

#### 取得可能な資格

- 作業療法士国家試験受験資格

### コミュニケーション 障害学コース

#### 育成する人材像

- ① コミュニケーション能力を有し、多様な関係者と良好な関係を築ける
- ② リーダーシップ、フォロワーシップ、自己マネジメント能力を有し、課題に的確に対応できる
- ③ コミュニケーション障害学の分野での確かなケアを提供できる
- ④ 高い倫理観や高度な専門的知識を有している

#### 取得可能な資格

- 言語聴覚士国家試験受験資格

### 人間福祉学 コース

#### 育成する人材像

- ① 地域共生社会の実現に貢献できる
- ② 人々が抱えるさまざまな生活課題を発見し、解決に向けて支援できる
- ③ 高い倫理観や高度な専門的知識を有している
- ④ 地域づくりと人々の生活を支える仕組みづくりに取り組める
- ⑤ 多様な関係者と良好な関係を築き、協働できる

#### 取得可能な資格

- 社会福祉士国家試験受験資格
- 精神保健福祉士国家試験受験資格 (ほか)

### 想定される進路

- 医療機関、福祉施設、地方公共団体などで医療・保健・福祉専門職として勤務

# 進化を続ける 県立広島大学

本学では、平成26年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラムに全国の公立大学で唯一採択された県大型アクティブ・ラーニングや、広島県との連携による教育改革を推進するなど、学生が主体的に学ぶ姿勢を身に付けるためのさまざまな取り組みを行っています。学部・学科の再編は、このような取り組みをさらに進化・発展させるものです。

## 県大では教育改革を進めるために、 このようなことに取り組んでいます！

- 教員相互の授業レビューおよび高等学校への授業見学による授業方法の改善
- 地域をフィールドとした行動型学修の推進
- 高大接続改革の推進
- 地域課題と関連した5つのプロジェクト研究センターの立ち上げ
- 研究データを活用した、健康増進車(コソコソ健康増進号)による県民の健康づくり支援
- 企業や地元スポーツ団体とコラボレーションした新商品・イベントの企画
- 海外留学や国際交流活動などの経験を評価する推薦入試「異文化体験枠」の導入 など

## 入学料・授業料(2020年度予定)

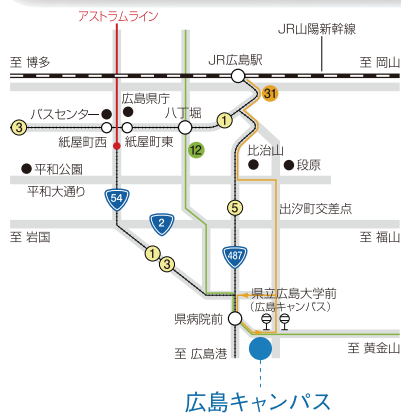
地域創生学部  
生物資源科学部  
保健福祉学部

全学部共通

	県内	県外
入学料	282,000円	394,800円
授業料	通年535,800円 (半期267,900円)	

※生物資源科学部(庄原キャンパス)については、施設費(年額:15,600円)が別途必要です。

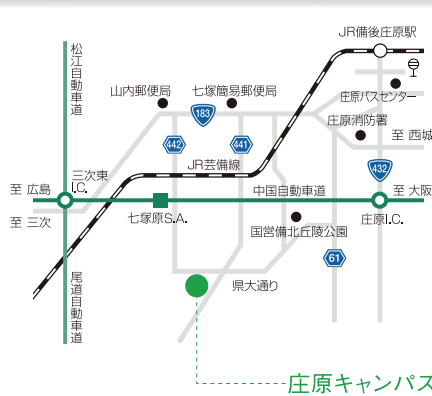
## アクセス



### 広島キャンパス[大学本部]

広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

- JR広島駅から  
【バス】広島バス「31号線(翠町線)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車(約20分)…徒歩3分  
【市内電車】「広島線」行き(⑤号線)にて「県病院前」下車(約20分)…徒歩7分
- バスセンター(紙屋町)から  
【市内電車】「広島線」行きまたは「宇品二丁目」行き(①号線または③号線)にて  
「県病院前」下車(約20分)…徒歩7分
- 広島港(宇品)から  
【市内電車】「広島線」行き(①号線または⑤号線)または  
「広島西広島(己斐)」行き(③号線)にて「県病院前」下車(約10分)…徒歩7分
- 八丁堀(ヤマダ電機前)から  
【バス】広島バス「12号線(仁保沖町)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車(約20分)…徒歩1分



### 庄原キャンパス

広島県庄原市七塚町5562番地

- 高速道路  
広島IC~三次東IC…81.5km(約1時間)  
尾道IC~三次東IC…70.6km(約1時間20分)  
※三次東ICから約15分
- バス  
広島バスセンター~庄原バスセンター…高速バスで約1時間50分  
(直通:県立広島大学前行き 約2時間)
- JR  
JR広島駅~JR備後庄原駅…JR芸備線で約2時間
- JR備後庄原駅~庄原バスセンター~庄原キャンパス…スクールバス(21分)で  
「県立広島大学前」下車



### 三原キャンパス

広島県三原市学園町1番1号

- JR  
JR広島駅~JR三原駅…JR山陽新幹線「こだま号」で約30分  
JR岡山駅~JR三原駅…JR山陽新幹線「こだま号」で約45分
- リムジンバス  
広島空港~JR三原駅…約40分
- JR三原駅~三原キャンパス  
JR三原駅南口バス5番乗り場から芸備バス「籍兼線」に  
乗車(約15分)、「県立広島大学」(終点)下車

